

SGU 講師 Ward 教授を囲んで

(数学・数理解析専攻 茶話会) 報告書

数学・数理解析専攻では、数学系スーパーグローバルコース (SGU) を設置しており、その活動の一つに著名な海外研究者による特別講義があります。この数学・数理科学グローバル特別講義 II の講師である University of South Australia の Lesley Ward 教授を囲んで、2025 年 1 月 30 日 (木) に、女性大学院生と女性研究者の茶話会を理学研究科 3 号館で行いました。Lesley 教授と数学専攻の女性教員 4 名、女性大学院生 3 名と 8 名が参加しました。



Lesley Ward

(University of South Australia)

まず、それぞれの自己紹介を行いました。各人の専門分野は、数学の中でも多岐に渡りますが、Ward 教授の提案で、研究分野についての紹介は数学の他分野に関係するように説明しました。また、高校から今に至るまで、クラスメートや教員に女性がどの程度いたかについても話すようにとのことでした。

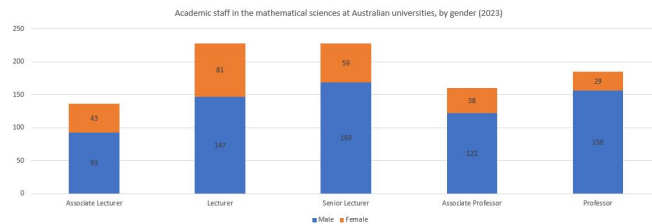
一通りの自己紹介の後に、Ward 教授からオーストラリアの女性数学者を増やすために取り組んできたことや、ジェンダー平等に関する査読済み

1. Earliest photos I found: Esther Szekeres & Marta Sved



Esther Szekeres (left) & Marta Sved (right): first women hired in mathematics at University of Adelaide (1957 & 1960)

1. Data: More recent – AMSI 2023 participation rates



Note: Staff of unspecified/other gender currently make up about 0.5 per cent of all mathematical academic staff - given their very small number they have not been included here. The resulting estimate also excludes staff employed in Education faculties to teach maths education to teachers in training

Source: AMSI Survey complemented by desktop analysis of academic staff at 37 universities, excluding casual staff (completed in 2023).

Source: AMSI Discipline Profile 2024, 37 departments

Percentage of women, Levels A–E:

2023	31%	36%	26%	24%	16%
2014	29%	31%	25%	19%	9%

Upshot: some progress at each level, but there's still a problem

Lesley Ward

From Marriage Bar to Hypatia Scholarship

文献についてスライドを用いて説明いただきました。このようなイベントはコミュニティの構築、情報の共有、個人のレジリエンス強化に役立つとのことでした。

大学院生からは次の感想をもらいました。

- ・数学のアカデミアのキャリアが進むにつれ女性の割合が少ない現状について、実際に体感していたことを数値で見ることができたのが面白かったです。
- ・オーストラリアなど海外での現状や、それを改善するための制度やイベントの内容を聞くことが出来たことは貴重でした。
- ・Women-in-math のイベントは海外ではよく開催されていると聞くので、これから増えたらいいなと思いました。
- ・学内の女性教員で、あまり面識がなかった方と交流できて良い機会でした。
- ・京大では女性が集まる会はあまり多くないですが、またこのような機会があれば良いと感じました。

理学研究科では女性研究者と女性学生・大学院生の交流イベントもサポートされていることと、Ward 教授の働きかけで初めて持った今回の交流を皮切りに、またこのような機会を持ちたいと考えております。

報告者：清水扇丈（数学・数理解析専攻長）